

携帯電話のルールとマナー

大項目	携帯電話全般
小項目	ルールとマナー
タイトル	携帯電話のルールとマナー～まわりの人の迷惑にならないように、ルールやマナーを守りましょう～
ねらい	街の中や公共の場所等で携帯電話を使う際の問題点を知り、よりよい利用方法を身に付ける。
作成の意図	<p>いつでも、どこでも使えて便利な携帯電話も、ルールや場所をわきまえたマナーを守る必要がある。使い方を間違えると、事故につながったり、周りの人に迷惑を掛けたりすることがある。</p> <p>そこで、街の中には、携帯電話の電源を切らなくてはならない場所やマナーモードにする場所、携帯電話を使いながらやってはいけないことがあることを理解させ、マナーやルールを守ったよりよい携帯電話の利用方法を身に付けさせる。</p>
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・使ってはいけない場所（電源を切らなくてはならない場所）について ・ルールを守って使う場所について ・やってはいけないことについて
展開例	<p>(1) 情報モラル啓発資料を配付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、携帯電話を所有していない者も、これから所有し利用する可能性が高いので、一緒に考えさせるようにする。 <p>(2) イラストを見ながら、携帯電話を利用する際のルールやマナーについて考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話を利用する際、気を付けなければならないことや、どのような対応が望まれるかを理解させる。 <p>①使ってはいけない場所について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛行機や病院の中、電車やバスの優先席付近では、電源を切らなければならないことを理解させる。 ・携帯電話の電波が精密機械やペースメーカーに影響を与え、誤作動を起こして人の命を脅かす危険があることを理解させる。 ・心臓ペースメーカーは、患者の心臓の鼓動が途切れたり、一定以上の間隔を超えてしまったりすると、それを察知して電気刺激を心臓に送り、心臓が正常なリズムで鼓動することを助ける“心臓のサポーター”であると説明する。 <p>②ルールを守って使う場所（公共の場所でのマナー）について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画館、美術館、図書館、劇場では、電源を切らなければならないことを理解させる。 ・混み合う場所では、近くに特別な配慮が必要な人がいる可能性があるため、電源を切るように指導する。また、話し声はもちろん、着信音や液晶から漏れる光もまわりの人の迷惑になることを理解させる。 ・外に出ないと電話ができない。しかし、すぐには外に出られない場合は、相手に自分が置かれている状況を知らせるためにも電源を切るように指導する。 ・レストランやホテルのロビー、電車やバスの中ではマナーモードにすることを理解させる。 ・電話が掛かってきたら、迷惑でない場所に移動してから話すか、いったん切ってから掛け直すようにさせる。電話を掛ける側も、相手の状況を確認してあげるのがマナーであることに気付かせる。 <p>③やってはいけないことについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車に乗りながら、あるいは歩きながらの「ながら」使用は危険であることを理解させる。 ・自動車の運転中なら道路交通法違反、自転車でも安全運転義務違反になることを知らせる。 ・無断で携帯電話の充電をする行為「盗電」は、電気泥棒にあたることを理解させる。 <p>(3) 実際に起こった事例を確認させる。</p>